

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	尊重だけを取るとお客様が楽な方に向かい自立支援にならない時もある。	傾聴し想いを受け取る。	お客様に向き合い話を聞く時間をつくるようにしていく。	12ヶ月
2	2	傾聴ボランティア、子供達のダンスなど来てもらったの繋がりはあるが、お客様が出かけての交流はしていない。職員数が少なく外での交流に連れて行けないのも現実。	地域生活において場面作りをしていく。	幼稚園、小学校、中学校のイベントに呼んでもらい地域との繋がりをつくるようにしていく。	12ヶ月
3	43	9割がリハビリパンツを使用するのが当たり前になっている。	5割、布パンツに変えていけるようにしていく。	個々の排泄状況を変更し失禁のない様にしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。